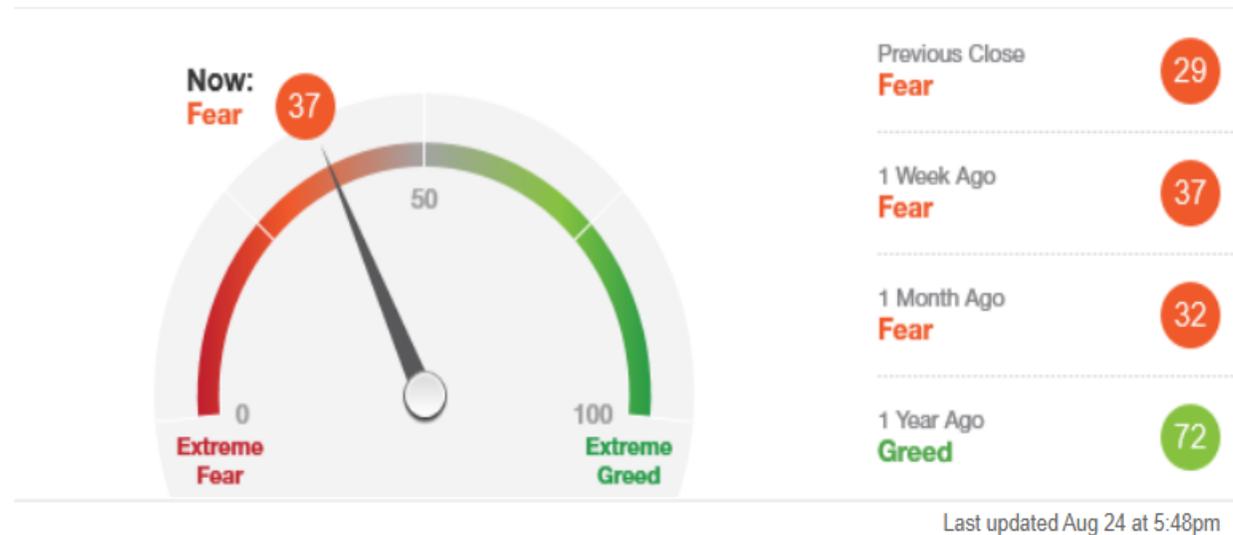


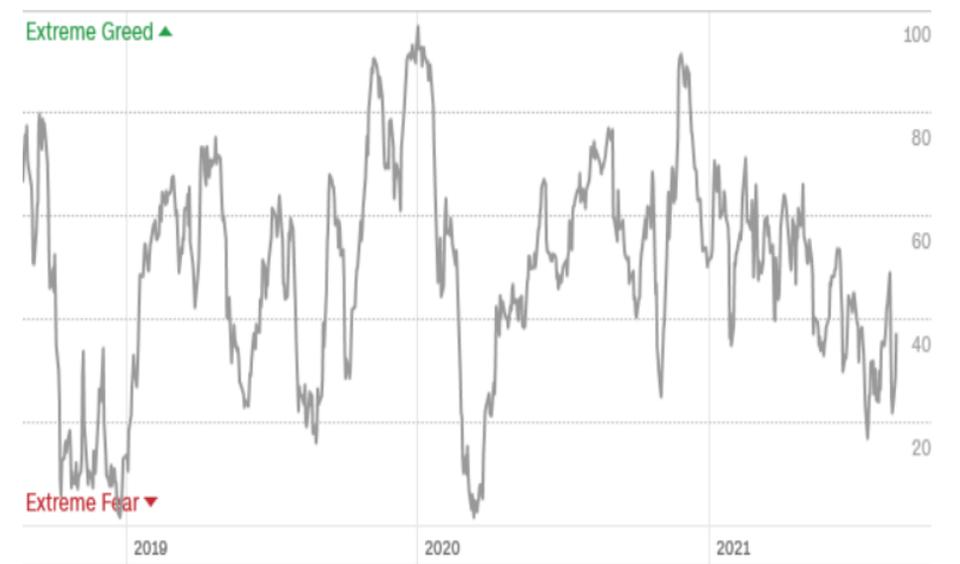
CNNマネー 恐怖と欲望指数

Fear & Greed Index

What emotion is driving the market now?

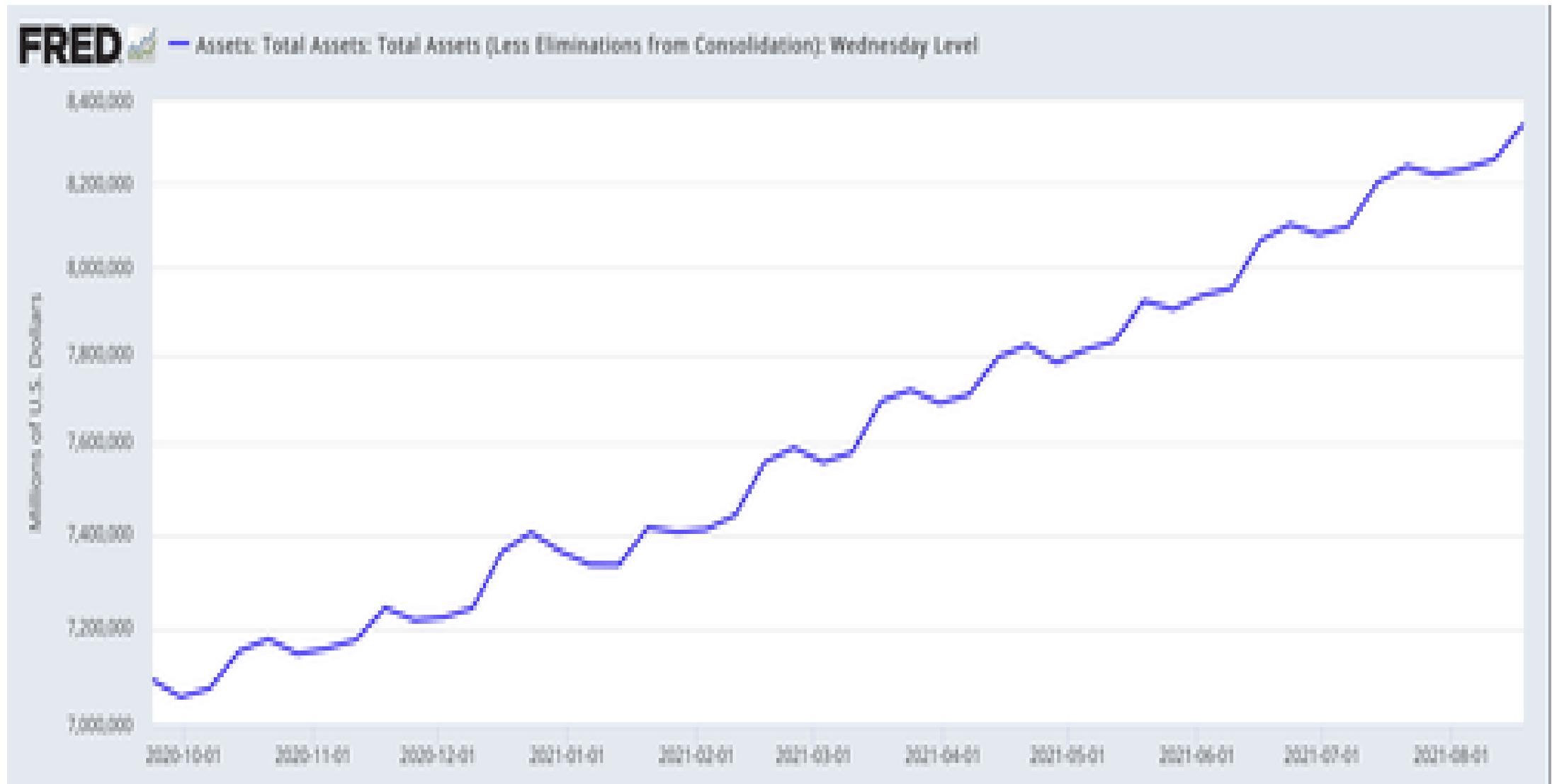


Fear & Greed Over Time



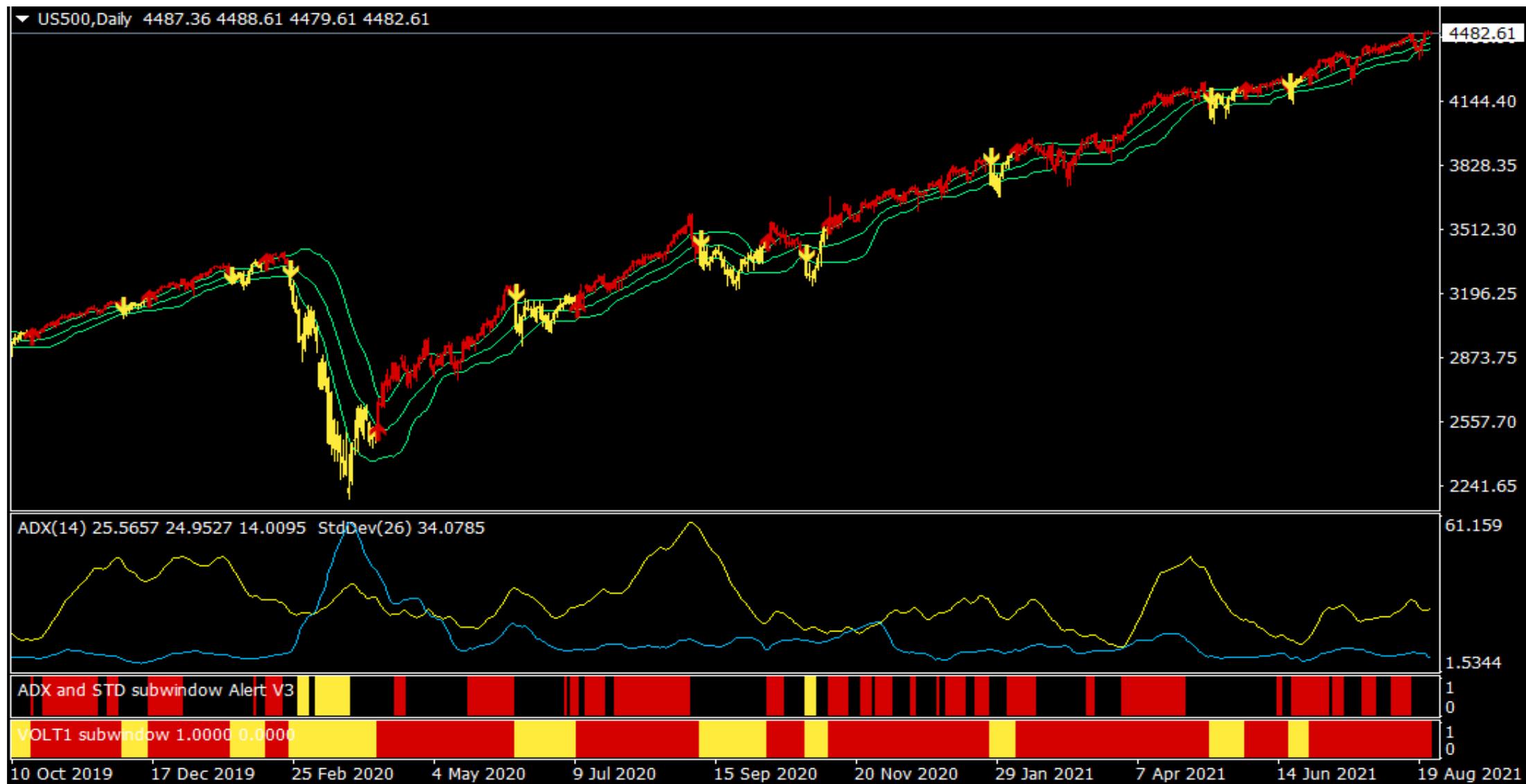
出所：CNNマネー

連銀の総資産の推移



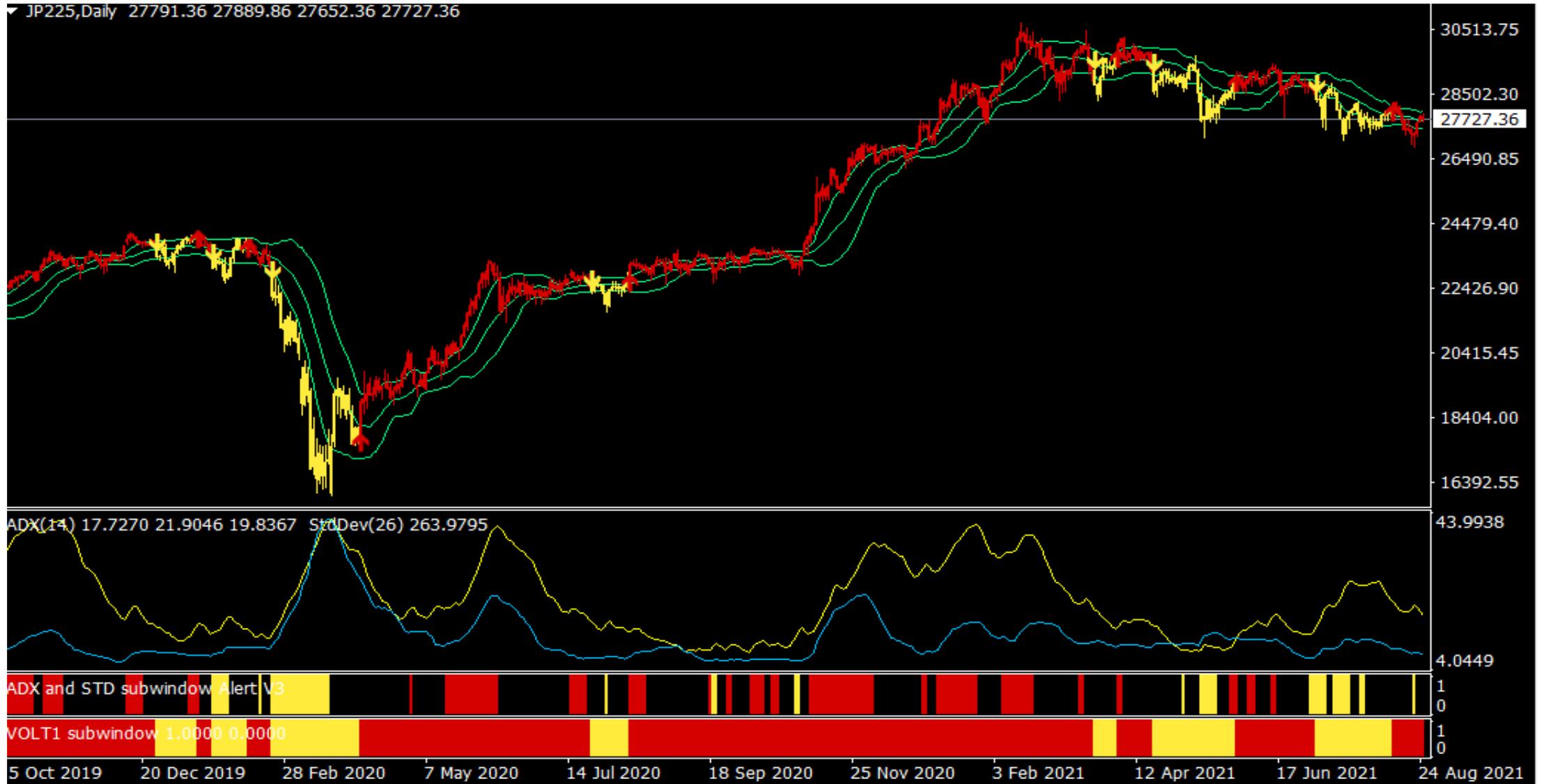
出所：セントルイス連銀

S&P500CFD (日足) (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



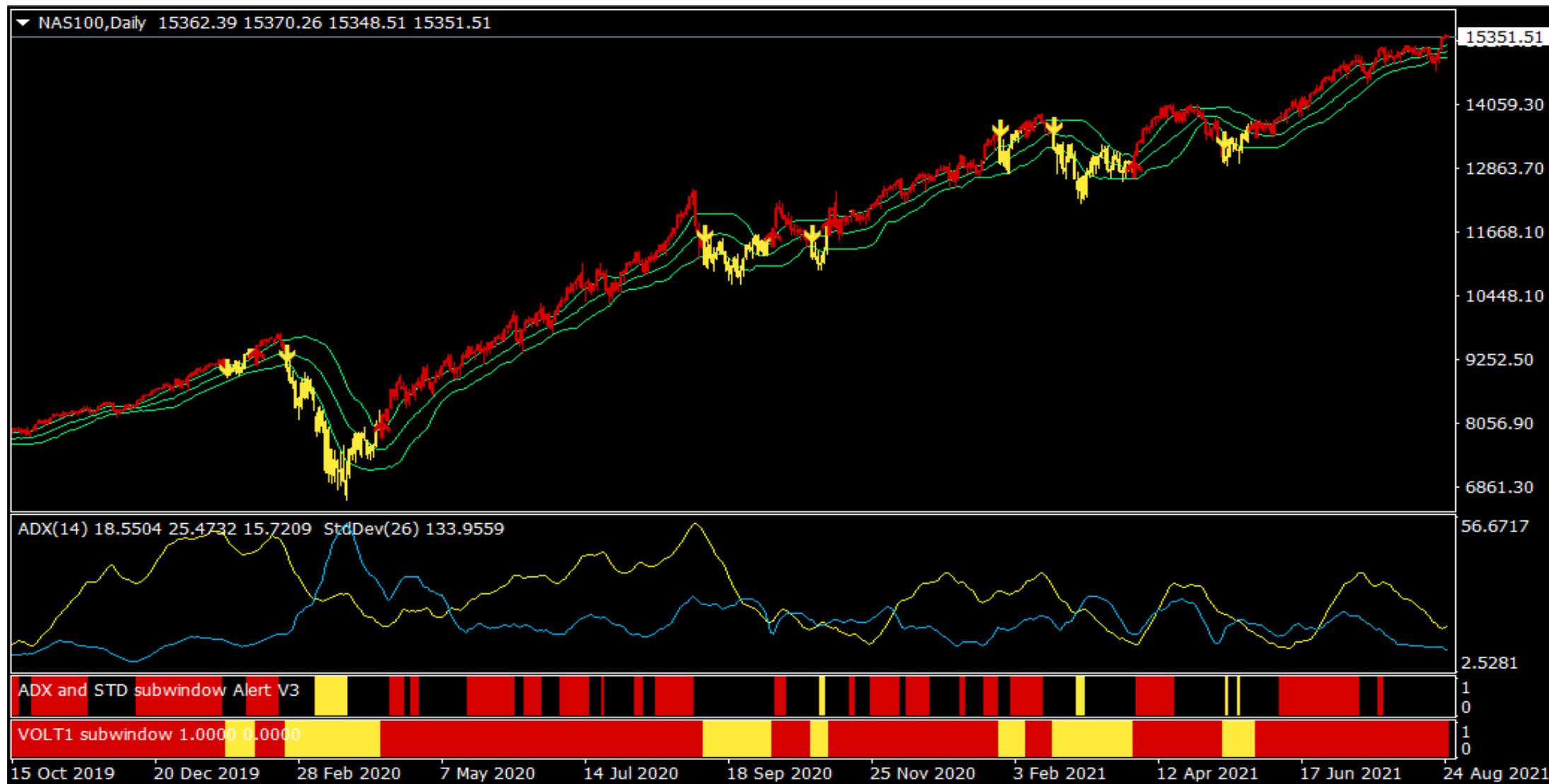
出所：楽天MT4・石原順インディケーター

日経平均CFD（日足）（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル）



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

ナスダック100CFD（日足）（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル）



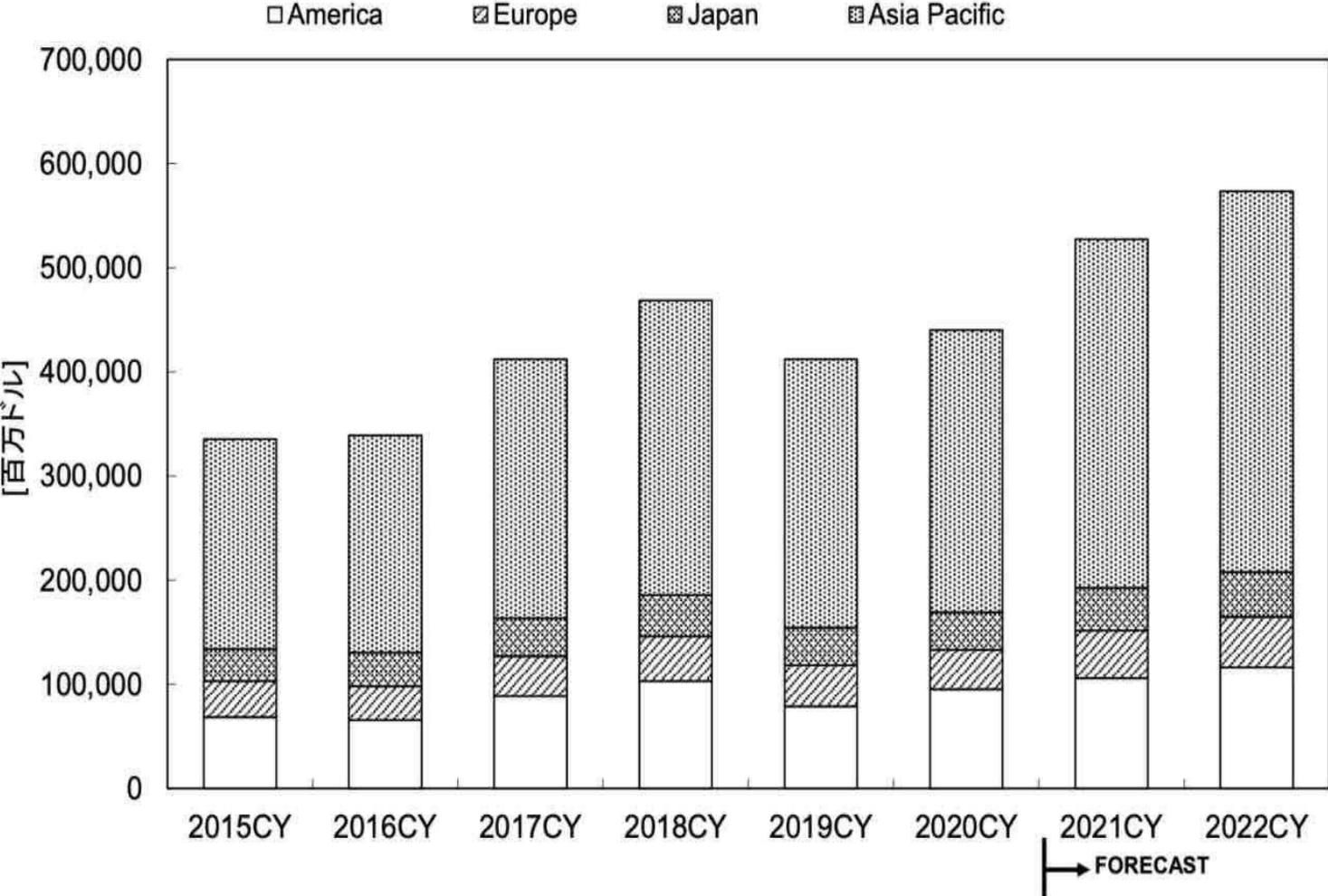
出所：楽天MT4・石原順インディケーター

エヌビディアの日足・週足・月足



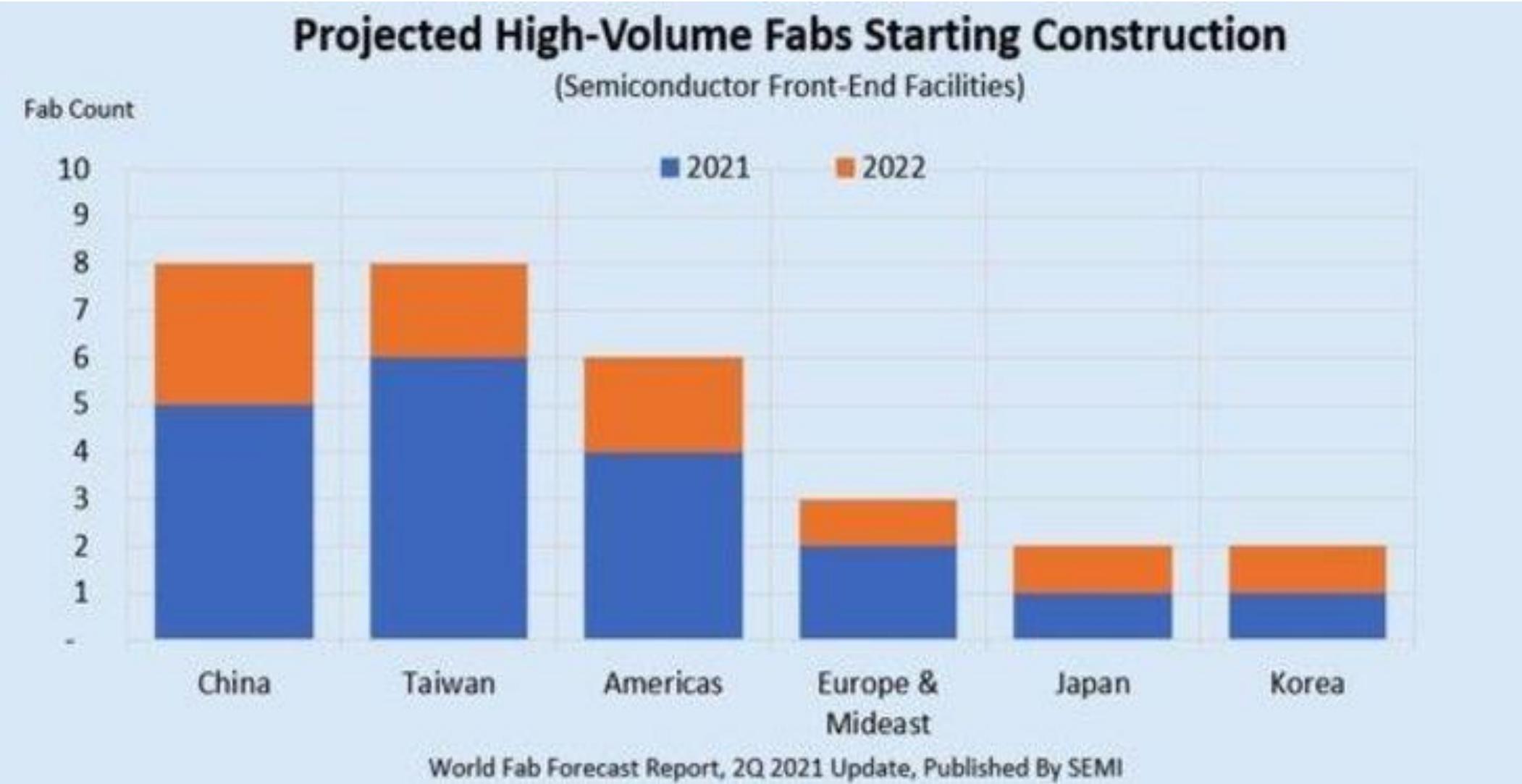
出所：パンローリングカスタムチャート

地域別世界半導体市場規模推移（2021年以降は予測値）



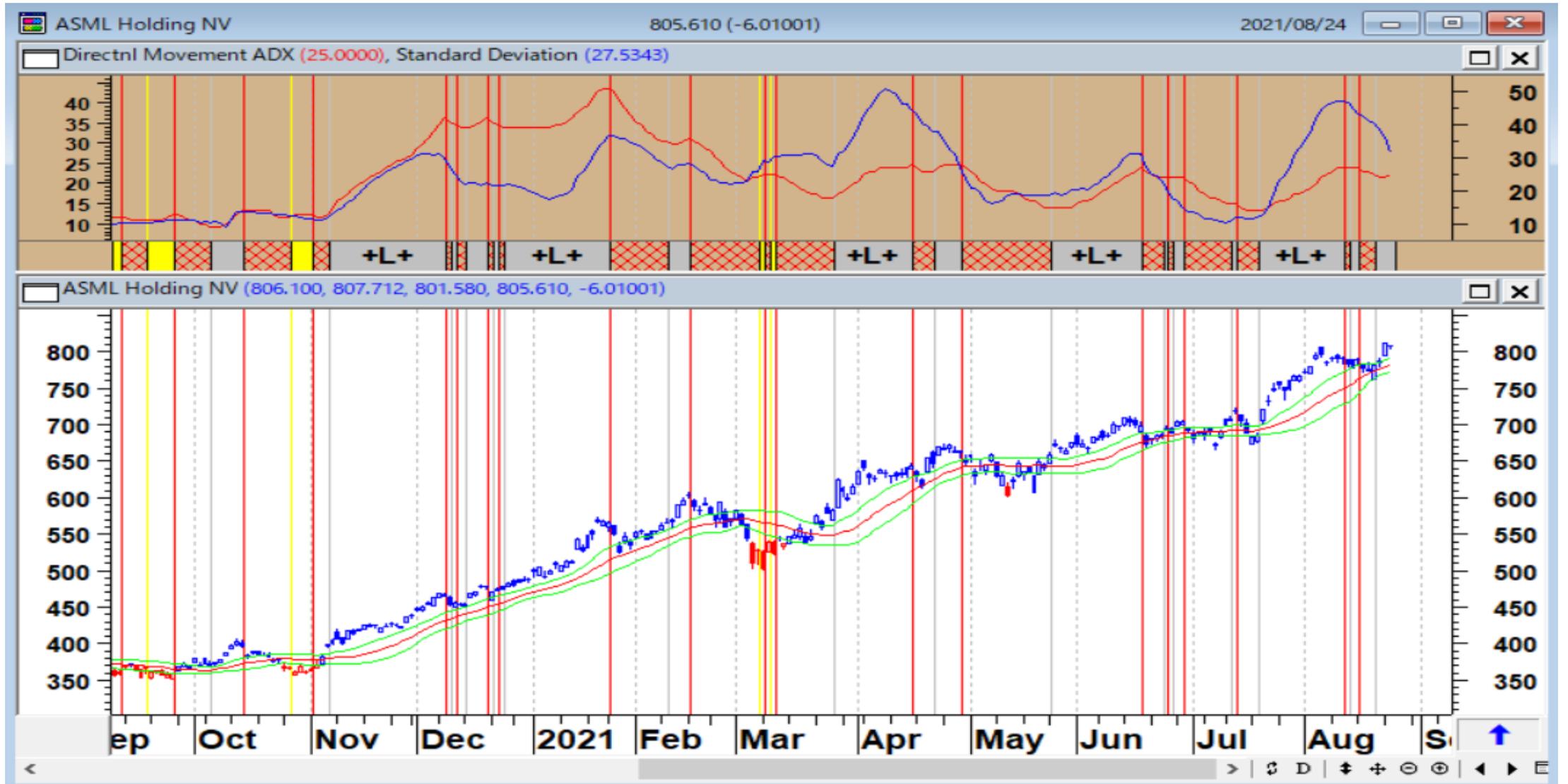
出所：WSTS

2021年と2022年に予定されている地域別半導体新工場の建設計画



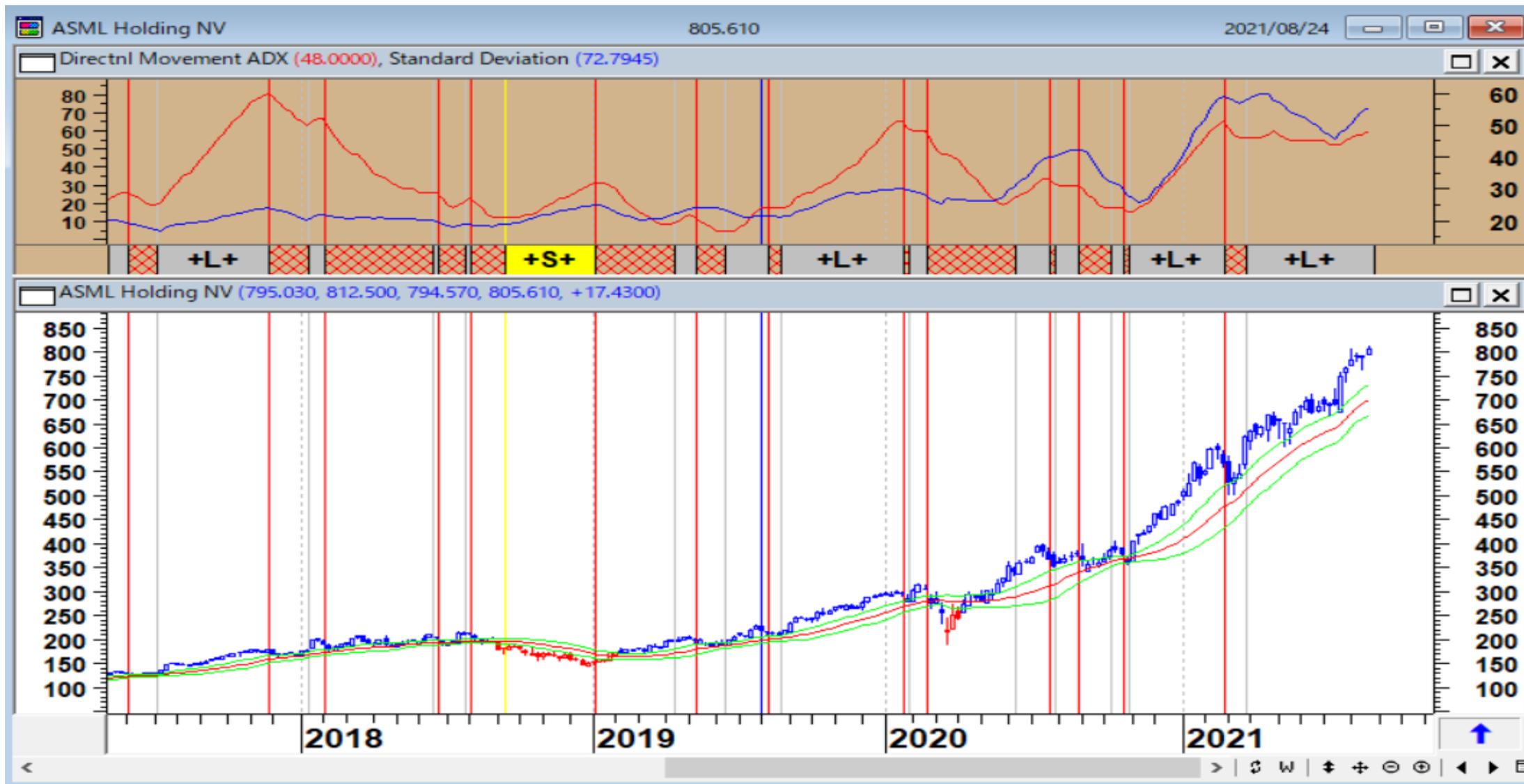
出所：SEMI「World Fab Forecastレポート」

ASML (日足)



出所：筆者作成

ASML (週足)



出所：筆者作成

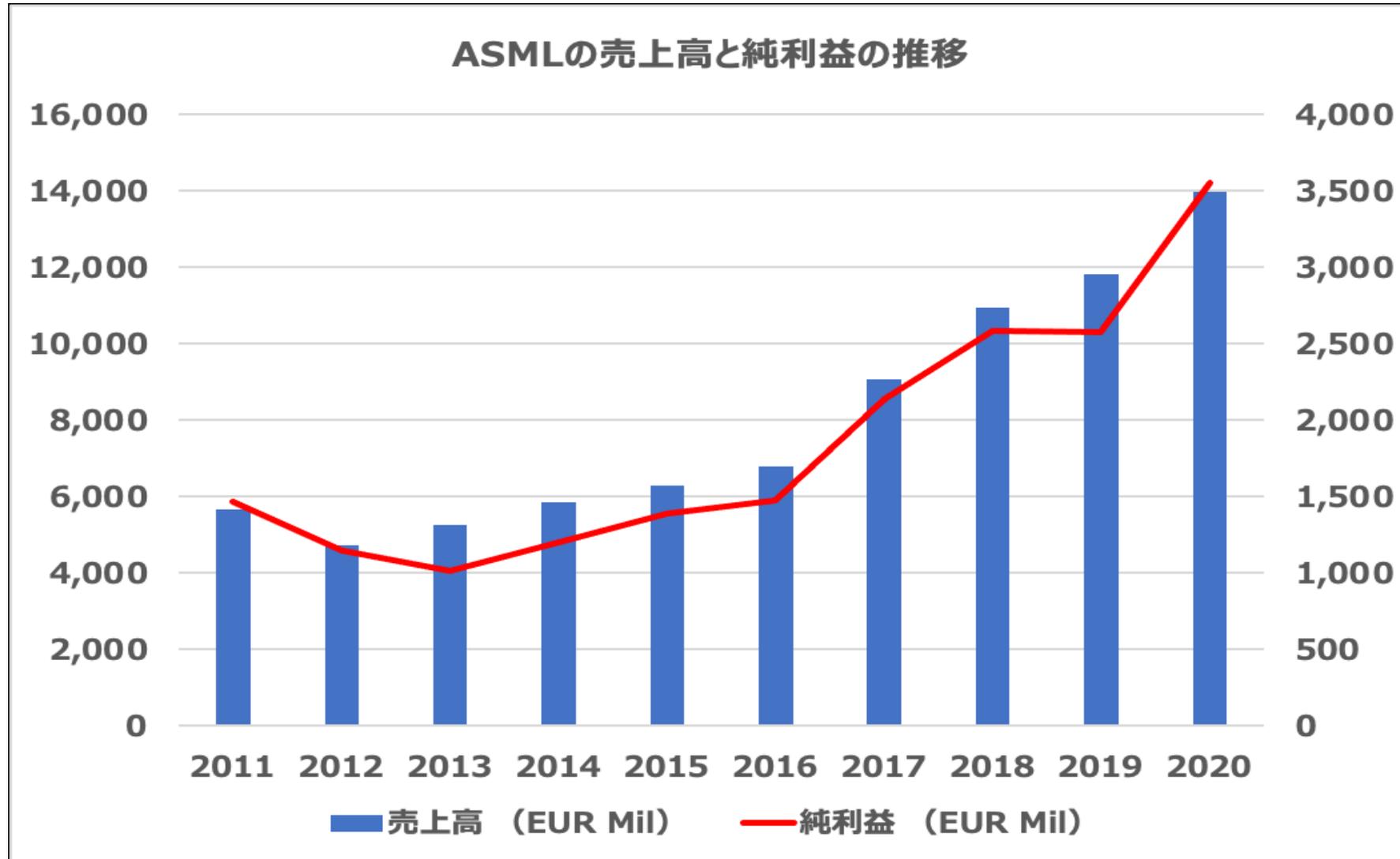
微細化の最先端にいるのがオランダのASML

- 半導体の小型化、高性能化を推進してきたのが、半導体回路の線幅の微細化である。近年では半導体回路の線幅の微細化も限界に近づいており、3D化（積層化）へとさらに技術が進みつつあるものの、微細化は今後、ロジックからメモリーへと広がっていくため、まだまだアップサイドが期待できる。
- その微細化の最先端にいるのがオランダのASML（ASML）である。ASMLはリソグラフィーと呼ばれる半導体製造のプロセスにおいて、紫外線を使用しマイクロチップの基礎となる回路を焼き付けていく過程を担う装置を手がけている。現在、最先端の微細化を実現するために使われるEUV（極端紫外線）の露光装置は1台200億円規模と高額であるが、インテルは前述した米アリゾナ州での新工場2つにEUV露光装置を導入することを明言している。ASMLはEUV露光装置のシェア100%である。

ASMLの上位顧客であるTSMC、サムスン、インテルの3社が積極的な設備投資を表明

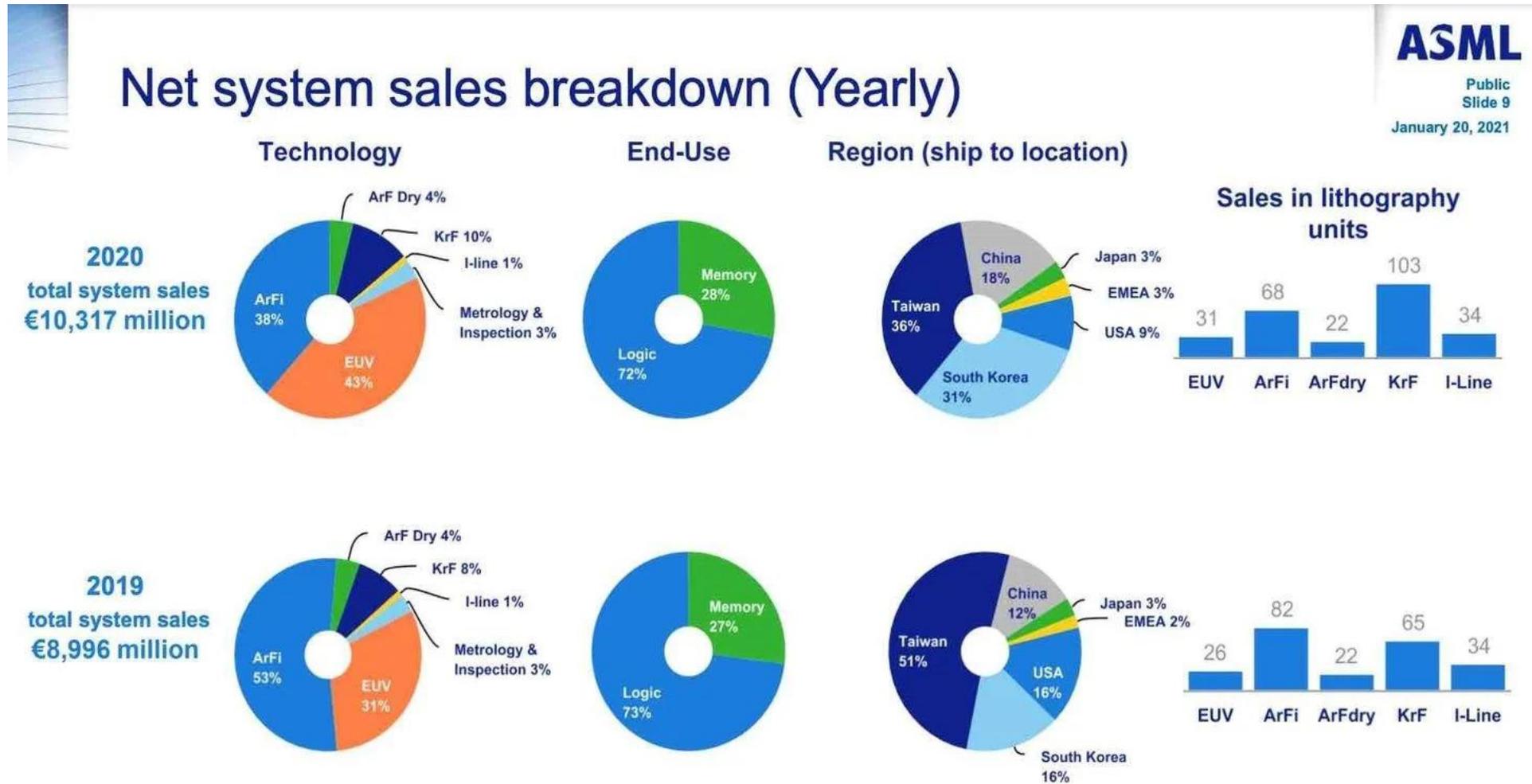
- ASMLの業績は売上、利益ともに成長が続いている。2020年通年の売上高は前年比18%増の139億7900万ユーロ、純利益は同37%増の35億5400万ユーロと大幅な増収増益となった。
- EUVの露光装置の販売台数は2019年の26台から31台に増加しており、売上高に占めるシェアも4割を超えている。
- 自己資本利益率（ROE）は25%超え、投下資本利益率（ROIC）は20%を超えており、収益性が高い。
- キャッシュフローも申し分ない。これからの大きな投資にも耐えるだけの財務体質を持っている。
- 2021年についても30%の増収、40–50%の増益を見込んでいる。ASMLの上位顧客であるTSMC、サムスン、インテルの3社が積極的な設備投資を表明しており、ASMLの中期的な見通しは明るいと言えるだろう。

ASMLの売上高と純利益の推移



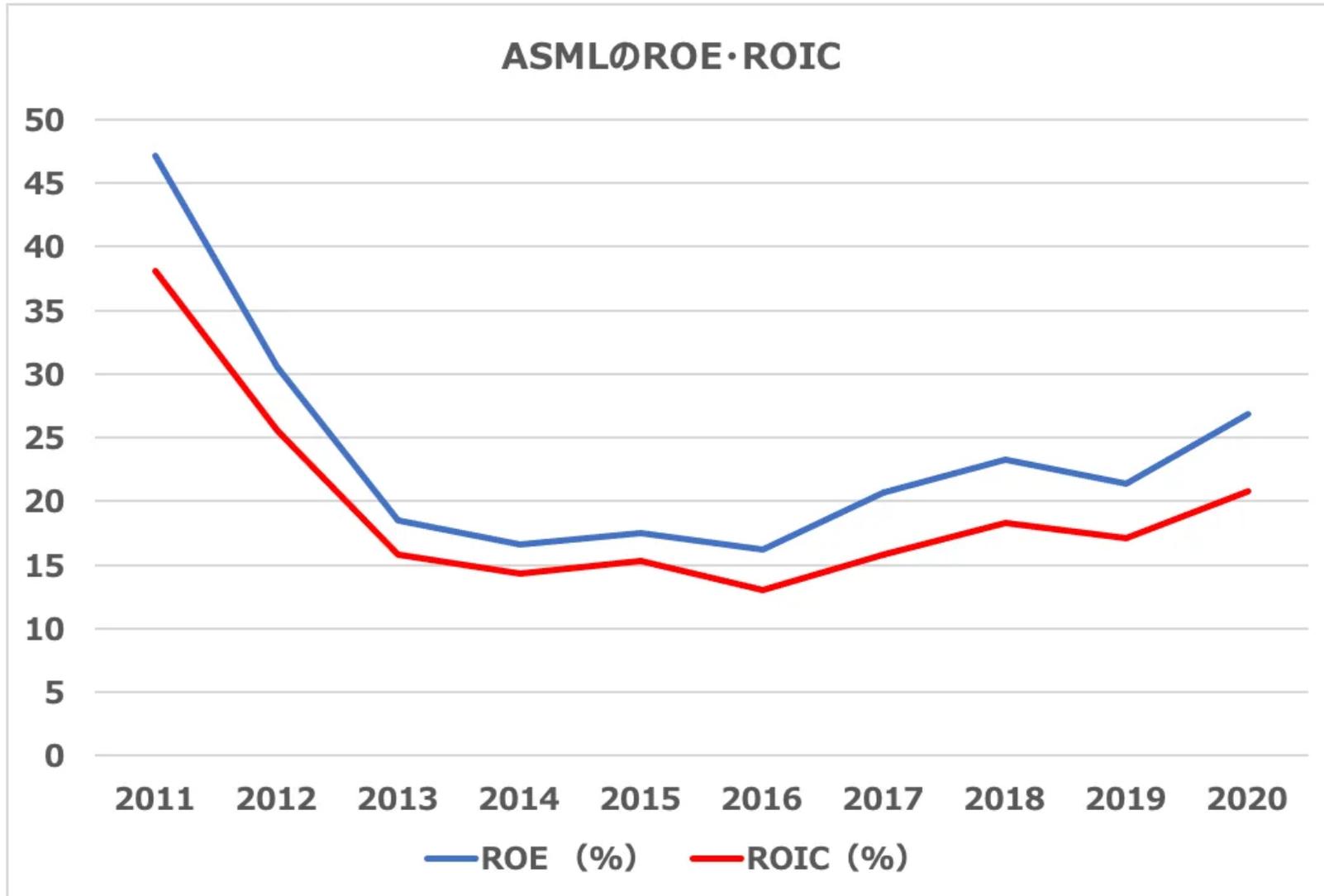
出所：筆者作成

ASMLのテクノロジー別、エンドユーザー別、地域別売上



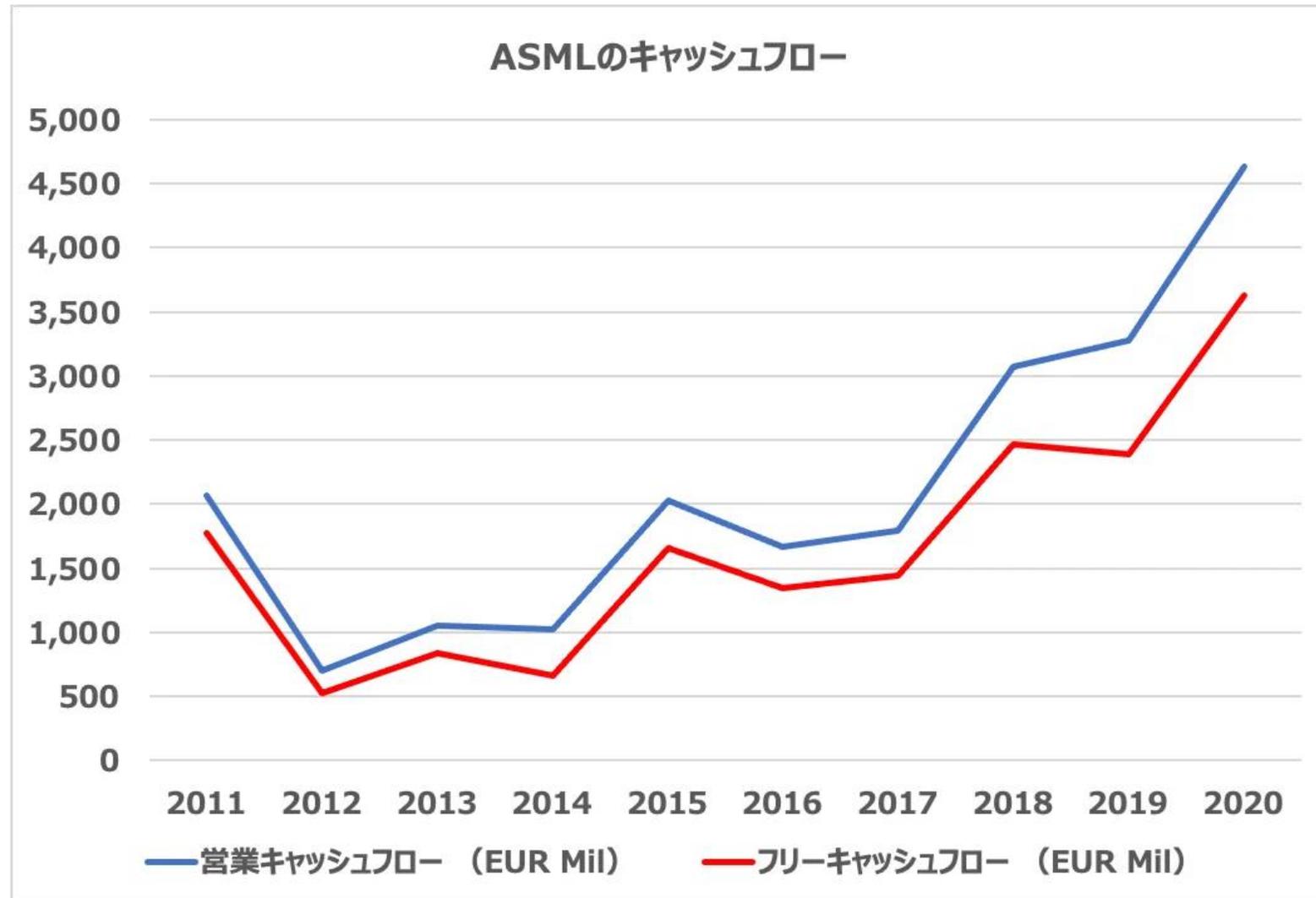
出所：ASML決算資料

ASMLの自己資本利益率（ROE）と投下資本利益率（ROIC）



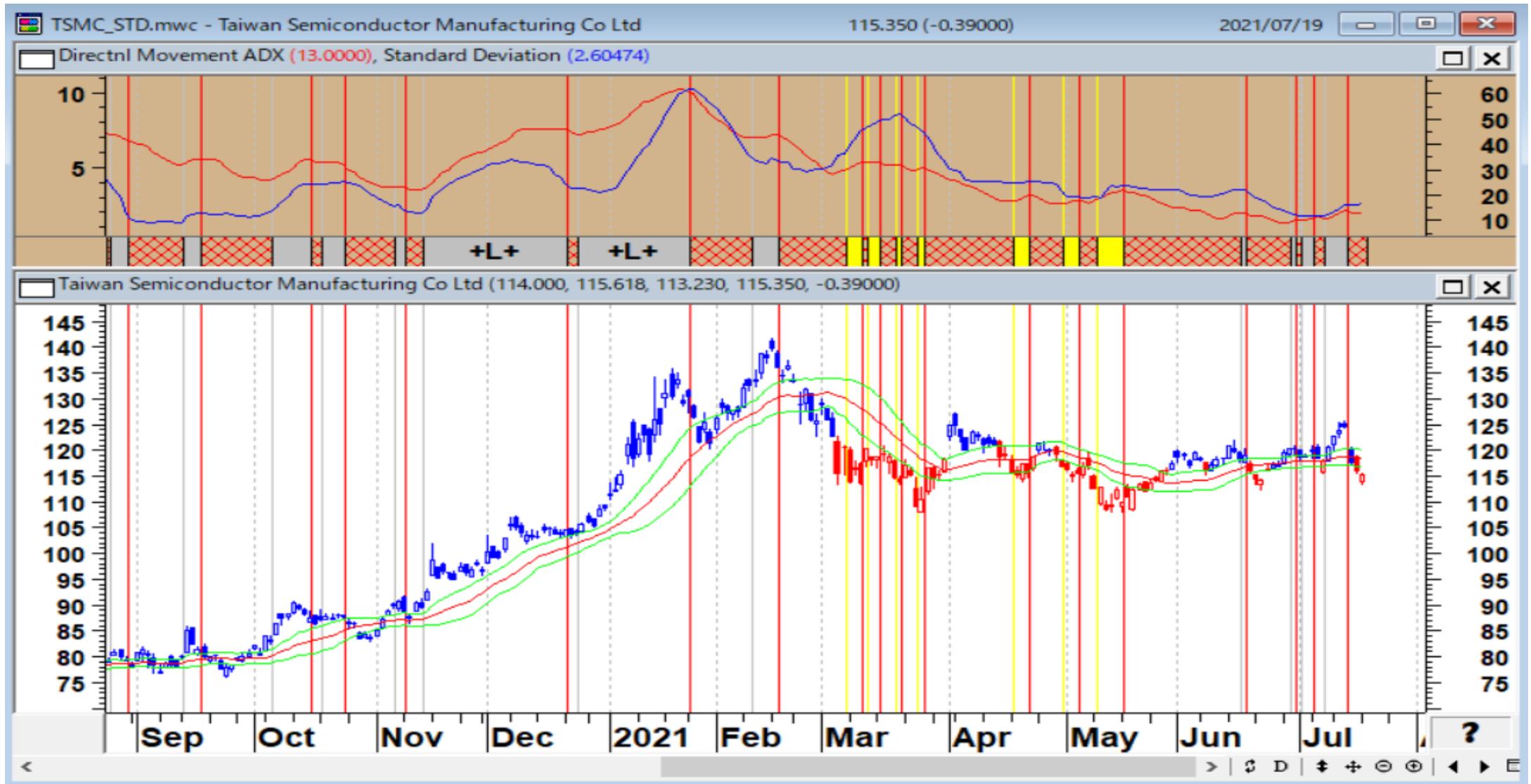
出所：筆者作成

ASMLの営業キャッシュフロー（青色）とフリーキャッシュフロー（赤色）



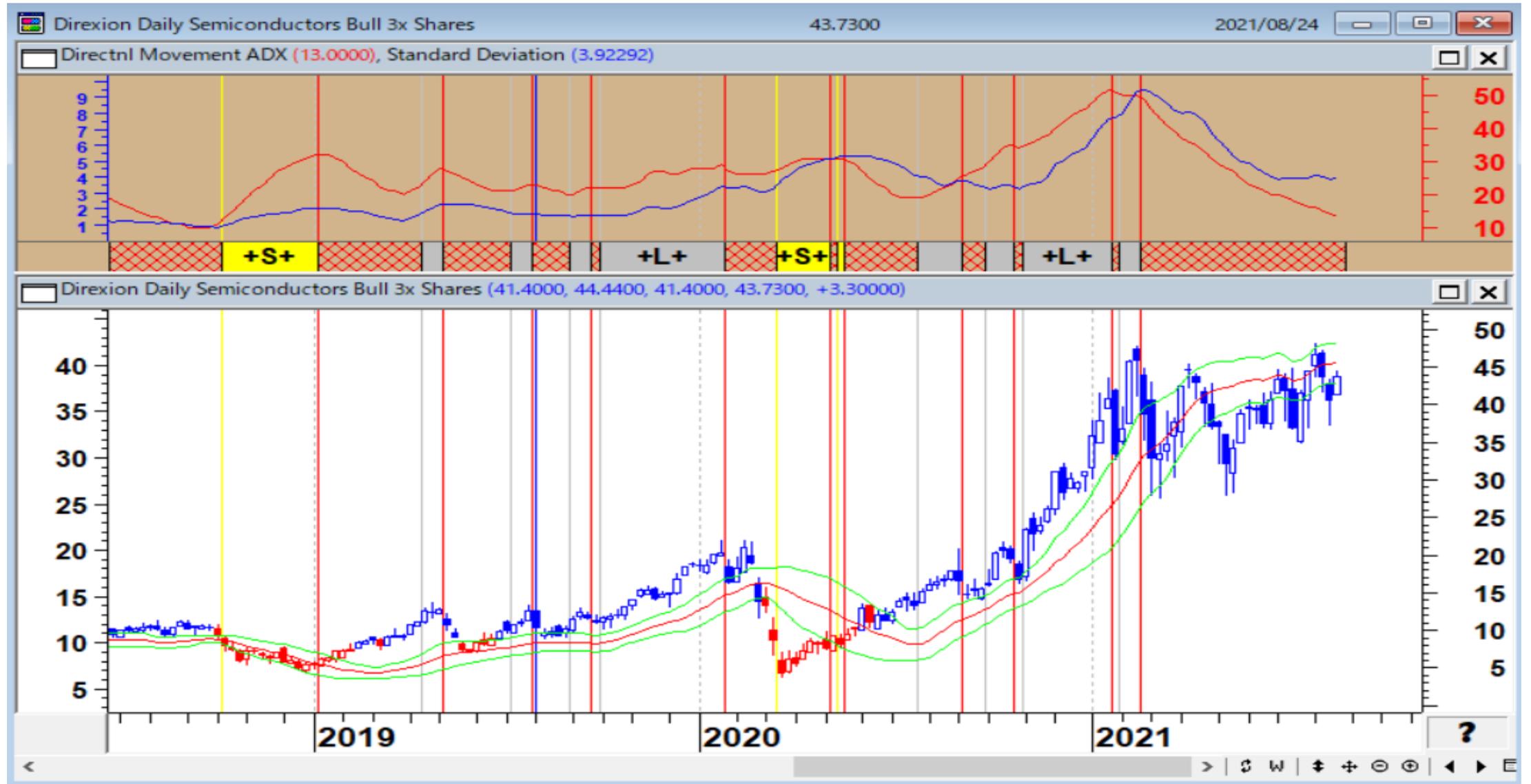
出所：筆者作成

TSMC (日足)



出所：筆者作成

TSMC (週足)



出所：筆者作成

S&P500指数の推移（グレーの網掛け部分は6ヶ月以上続けて陽線）



1871年以降、マイナスの月が現れる前に6ヶ月以上のプラスのリターンが続いたことは12回しかなかった。また、2ヶ月以上の期間が245回あった中で、6ヶ月以上調整なしで続いたのは、合計で40回しかない。

**現在の6ヶ月連続陽線の株式バブル期にすべきことは、
ポートフォリオのリバランスを行うべきだということである。**

- 1.勝利したポジションを元のポートフォリオのウェイトに戻す。(例えば、利益確定)**
- 2.うまくいっていないポジションを売る。跳ね上がった時に市場と一緒に上昇しなければ、市場が再び売られた時にもっと下落するだろう。**
- 3.トレーリングストップロス 新しいレベルに上げる。**
- 4.リスク許容度に応じてポートフォリオの配分を見直す。この時期に株式に積極的な配分をしている場合は、2008年に感じたことを思い出して頂いてくれ。現金を増やし、債券を増やすことで、相対的な市場エクスポージャーを減らす。**

(Lance Roberts氏の助言)